

災害に強い地域医療の要に

新たな山田病院が開院

東日本大震災津波により被災し、仮設診療所で診療を行っていた県立山田病院（宮本伸也院長）が、山田中学校隣に移転新設されました。新病院は「患者さんとの信頼関係をもとに安心と最善の医療を行います。」を基本理念に掲げ、9月1日から診療を開始します。今号では山田病院の概要と8月19日に行われた落成式の様子を紹介します。

◎入院機能が回復

県立山田病院は、敷地面積1万1018平方メートルに鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ床面積3528平方メートルで整備されました。一般病床50床を備えており、入院機能が回復しました。また、これから消防署と交番が隣接整備され、本町の防災拠点となります。

◎診療科目は計6科

診療体制は、常勤医師が4人（外科1人、内科3人）。診療科目は内科、外科、小児科、整形外科、眼科、リハビリテーション

ン科の計6科です。また、訪問診療が移転後も継続して行われます。



◆◆◆◆◆
県立山田病院の9月1日からの診療時間、受付時間は次のとおりとなります。

▽診療時間 月～金曜日の午前9時～午後5時

※土・日曜日、祝祭日は除きます。

▽受付時間 ▼午前8時半～11時 ▼午後1時半～4時
なお、診療時間外の救急は県立宮古病院で対応します。

◆問い合わせ 県立山田病院（☎82-2111）へどうぞ。



施設の内部をご紹介



スタッフステーションに隣接する薬剤部門。病室にも近く、患者へのスムーズな対応が可能となります。

全体図



広々とした待合室



コンピューター断層撮影（CT）装置を設置。精密な検査を受けることができます。

INTERVIEW



県立山田病院院長
宮本 伸也さん

仮設診療所での活動と、新病院の落成はたくさんの人に支えていただいたおかげです。ありがとうございます。

山田病院の再建は、町民の皆さんが待ち望んでいたことで期待も大きいと思います。その期待に応えるために、近隣施設と連携を取りながら若い人から高齢者まで、総合的な医療を提供していきます。

8月19日には、新築落成式が行われ、医療関係者ら約100人が出席しました。達増拓也知事が「今日は、災害に強い新たな病院のスタートとなります。沿岸地域の医療復興の象徴となることを願います」とあいさつ。佐藤信逸町長は「これから消防署と交番が隣接整備され、防災拠点となります。地域医療の要であるこの施設を、町民にとってやさしく身近なものに成長させるために尽力していきます」と決意を語りました。その後、テープカットや山田町第一保育所（舟田昌子所長）の園児による虎舞が披露され、落成を祝いました。

◎落成式で完成祝う

